

あぶたんつうしん

122号

インターンシップ職場体験

8月22日(木)、阿武隈大堰で職場体験が行われました。

訪れたのは東北工業大学の男子学生1名、仙台工業高等学校の男子生徒4名の計5名の皆さんです。

はじめに管理庁舎内で阿武隈大堰の概要や役割、建設の歴史やゲート開閉の仕組み、操作方法などの説明を受け、皆さんは資料を片手に熱心に聞き入っていました。

続いて阿武隈大堰管理橋に移動し、ゲートを動かす巻き上げ機が格納されている管理棟内部を観察したり、川面を見下ろします。

目の前に広がる阿武隈川の雄大さに、改めて感動を覚えているようでした。



操作室での様子



水流がすごい!



管理棟



いざ大堰へ



阿武隈川

次はいよいよ工事現場へ移動です。今回訪れるのは阿武隈川河口部で行われている災害復旧工事の現場となります。ここは津波で大きく壊れた堤防を復旧するための工事です。

現場では、堤防を築く前の基礎地盤を強くする作業である**サンドコンパクションパイル(砂で締め固められた杭)**について説明を受けました。

普通、地盤は土や砂、水、空気などで構成されています。

地盤が液状化すると、その上の建造物などを支えることが出来なくなってしまいます。海岸の波打ち際や雨が降った後のグラウンドで、足踏みをすると地面がどんどん柔らかくなっていくことがありますよね? これも一種の液状化現象です。

「砂で出来た杭を打ち込んで地盤を強化する?!」と驚かれるかもしれませんが、「サンドコンパクションパイル」は液状化しやすい地盤を強く締め固め、地震の際にも堤防などを壊れにくくする事が出来るんですよ。皆さんしっかり勉強できたかな?



現場での説明



機械の大きさにびっくり



パシヤリ!



お疲れ様でした!!

